

水稻本田防除剤

長崎県では6月上旬頃より梅雨入りし、天気の悪い日が続いております。時より豪雨が見られたり、晴れた日には刺すような日差しが出たりと夏の匂いがしてきました。天候の変化は農作物管理にも影響が心配される場所です。7月下旬には梅雨が明け夏本番となりますので、水稻では海外飛来性害虫が例年問題となってきます。昨年本県でも大きな被害をもたらしたこれらの害虫は今年も注意が必要です！箱施用薬剤に頼らずに本田防除は必須となりますので今回は飛来性害虫の発生状況と本田剤の紹介をしたいと思います。

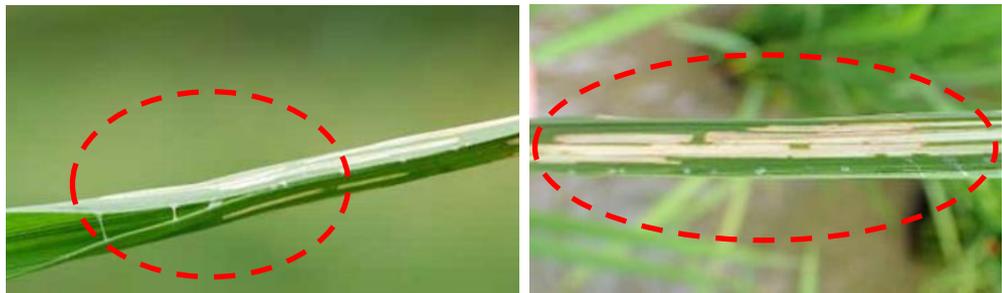
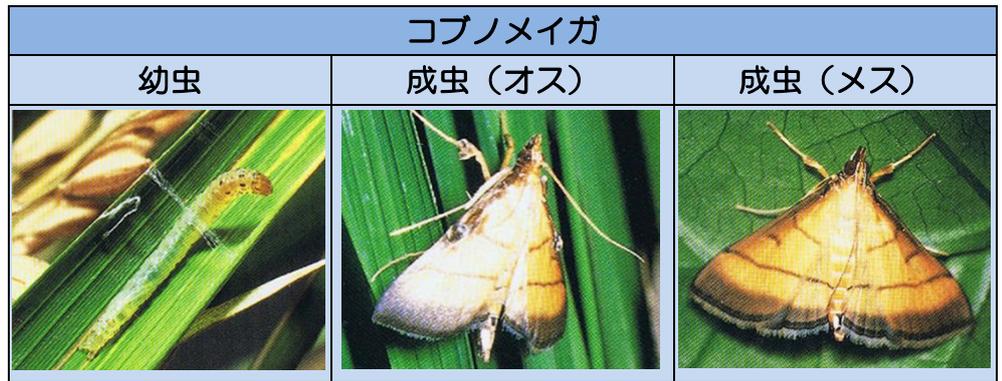
1. 水稻栽培飛来性害虫の発生状況

(1) コブノメイガ

昨年、九州管内でも大きな問題となったコブノメイガですが、本県でもすでに6月上旬にトラップへの飛来が確認されております。また、6月下旬のトラップ調査でも飛来が確認されており、早期水稻における被害も確認されております。本年の普通期でも飛来が確認されており、今年度も多発生圃場が出てくると予想されます。県内で広く利用されているピラキサルト入り箱粒剤の中にもコブノメイガを対象とする成分が含有されておりますが（商品名フェルテラ）、近年は第2世代幼虫の多発生が見られる圃場もありますので本田防除剤を含めて地域の暦に採用される薬剤でしっかり抑えましょう！

被害

出穂期頃に止め葉が食害され、多発すると圃場一面真っ白となるような被害がでます。幼虫の被害は葉を1枚ずつ縦にたたんで糸で綴り筒状にしたり、その中で表皮を残して食害します。次々と摂食する葉を替えるのが厄介で世代を繰り返すごとに急激に生息密度が高まるため、軽視すると大きな被害をもたらします。しかし、幼虫の食害はイネの葉のみであるため、登熟が悪くなることはあっても壊滅的な被害となることはありません。



図①：葉を糸で縦にたたむ被害

図②：表皮を残して食害

(2) ウンカ類

例年、各地区で坪枯れやウイルス病の媒介など、大きな被害をもたらすウンカ類ですが本県でもすでにトビイロウンカの飛来が6月上旬に確認されております。また、6月下旬のトラップ調査でも飛来が確認されており、例年より発生が多いと予想されています。ピラキサルトを含む箱施用薬剤を使用している圃場でも、油断はできません。他の病害虫防除を含めて本田防除薬剤による基幹防除は必須ですので各地区の防除暦にそった薬剤で防除して下さい。

	トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
雌 (♀)			
雄 (♂)			

<トビイロウンカ・セジロウンカ>

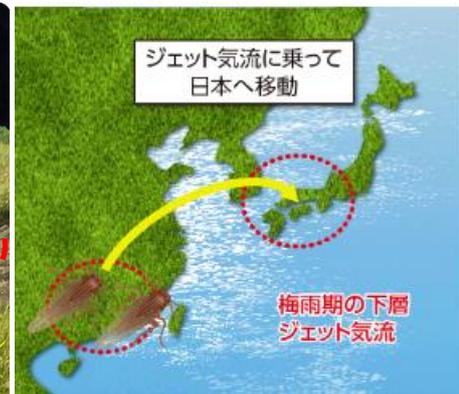
特徴・被害

- ・6月～7月の梅雨時期に下層ジェット気流に乗って中国から飛来します。
- ・増殖率が高く、飛来後の第2世代以降が大きな問題となり、栽培後半にトビイロでは「坪枯れ」、セジロでは「イネ黒すじ萎縮病」被害を引き起こします。

○坪枯れ被害圃場



○飛来パターン



<ヒメトビウンカ>

特徴・被害

- ・小麦でも大発生するように、イネ以外にも寄生でき、国内でも越冬できる害虫です。
- ・「イネ縞葉枯れ病」や「イネ黒すじ萎縮病」の媒介虫。
- ・越冬世代が小麦やイネ科雑草で増殖し、水田で増殖します。

○イネ縞葉枯れ病被害圃場



○イネ黒すじ萎縮病被害圃場



(3) イネカメムシ

昨年、イネカメムシが長崎管内でも確認され一部地域では被害の発生が見られました。従来の斑点米カメムシと違い籾の基部を吸汁し、出穂期は不稔籾、穂揃期以降は斑点米を生じさせます。また、イネ科雑草にはほとんど寄生しないため、一般的に斑点米カメムシ対策として有効な畦畔除草を行っても被害を抑えられないという特徴があります。

品質低下だけでなく大きな減収に繋がりますので、多発している圃場ではイネカメムシに向けた防除体系を意識してイネを守りましょう！



出穂期とその7~10日後の2回防除

不稔を発生させるため穂揃期からではなく出穂期からの防除が必要となります。

下記の2回防除でも発生が抑えられない場合は、発生に応じて**3回目防除**が必要となります。

不稔籾対策：出穂期防除

斑点米対策：出穂7~10日防除

「液剤・粉剤」体系で防除を行う！

防除は**液剤、粉剤**が基本となり、粒剤ではやや効果が劣るという情報があります。

粒剤で不稔を防止するには、出穂5~7日前に散布する必要がありますのでご注意ください。

2. 本田防除薬剤の代表例

製剤名	ロムダン剤	オーケストラ剤	トレボン剤	エクシード剤
主な商品名(例)	<ul style="list-style-type: none"> ロムダンフロアブル (チョウ目) オーケストラロムダンモンカット (ウンカ、チョウ目、紋枯病) 	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラフロアブル (ウンカ) オーケストラロムダンモンカット (ウンカ、チョウ目、紋枯病) 	<ul style="list-style-type: none"> トレボン粉剤、なげこみトレボン (ウンカ類、カメムシ類等) アミスタートレボン (ウンカ類、カメムシ類、いもち病等) 	<ul style="list-style-type: none"> エクシードフロアブル、粉剤 (ウンカ類、カメムシ類等)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> IGR剤で、チョウ目害虫に対して脱皮促進作用を示す。 無人ヘリコプター専用薬剤。 天敵類に影響が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ウンカ類や安定した効果を示し、既存剤抵抗性個体にも高い効果を示す。 ミツバチなど天敵への影響が小さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 広い範囲の害虫に有効。極めて速効的なノックダウン効果を示します。 また効果の持続性に優れるため、害虫の発生を抑えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ウンカ類やカメムシ類に優れた効果を発揮。 近年問題になっているイネカメムシについても高い効果を示す
画像				



プラスα
マンガシリーズ
第140弾!!

イネカメムシにご用心!! ☆



引用：ウンカ類の世代図（クミアイ化学工業）、発生予察情報（長崎県病害虫発生予察室）、水稲病害虫防除対策全国協議会、コブノメイガ情報（シンジェンタジャパンHP）、「ロムダン、オーケストラ、エクシード」情報（日本農薬）、トレボン情報（三井化学クロップ&ライフソリューション）、

*8月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。